

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属: 危機管理学部 危機管理学科

資格: 教授

氏名: 金山 泰介

研究課題		①サイバー犯罪被害実態及び犯罪の転移に関する研究 ②日本におけるCriminal Justice教育体系の構築に関する研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	①近年の刑法犯の減少傾向に対し、サイバー犯罪は増加傾向にあるもののその実態は、統計的な問題等から不透明である。そこで、外部研究資金により行ったインターネット経由のアンケート調査結果を分析、論文化した。また、海外の学会でその内容の一部を発表した。 ②Criminal Justice教育とは、欧米で警察官等の法執行官志望者に必要な諸科学を教育するもので、米国では盛んに行われている。しかるに我が国では、法執行官に求められる知識、技能を具体的に教育する大学はなかった。この度、本学部が開設され、我が国におけるCriminal Justice教育の先駆けを切ったところである。このCriminal Justice教育の体系の構築を目指し、危機管理学研究所の研究会としてクリミナルジャスティス教育研究会を発足させた。
	研究成果	①サイバー関係では、上記発表を行った結果、下記学術誌より投稿を招聘され英文論文が同誌に掲載された。 ②クリミナルジャスティス関係では、警察政策学会が編集した社会安全政策論の二つの章を執筆したほか、クリミナルジャスティス研究会の第1回会合で「大学における警察官志望者に対する教育の在り方について」を報告した。指紋鑑定に関する実験講義を危機管理基礎演習で実施した。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	①論文 Taisuke Kanayama "Impact of Cybercrime in Japan-Findings of Cybercrime Victimization Survey" Sociology Study (査読あり), June 2017, Vol 7, No6 ②著書 警察政策学会編 社会安全政策論 第4章「総合的な犯罪対策Ⅱ」(共著)63-82頁 第8章「家族等親密圏の安全」151-170頁 立花書房(2018)
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	①学会発表 Taisuke Kanayama "Impact of Cybercrime in Japan-from findings of cybercrime victimization survey Crime and Justice in Asia and the Global South July 13,2017 (Australia) ②学会発表 Taisuke Kanayama "How to figure out less visible cybercrime victims ?" 18th Annual Conference, Asian Association of Police Studies July 18 (Thailand)
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	①研究会発表 金山泰介「法執行官志望者に対する大学教育のあり方について」第1回クリミナルジャスティス教育研究会 2017年9月6日 ②社会貢献活動 金山泰介 警察政策学会理事(機関誌担当)